

確かな教育に基づく専門力，人間力の育成

宮城大学では、基盤教育や専門教育に加えて、インターンシップを含めたキャリア教育の充実を図ることにより、高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材を育成しています。

4年間を通じたキャリア教育及び就職支援

| 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 卒業後の進路 |
|--|--|--|------------------------|--|----------------------------------|-------------------------------|-------------|---|
| 進路選択やキャリア形成の意識を高めるため、客観的ツール等も用いて自己特性を把握する。 | | 目標を絞り、その実現に向けた | | 知識と実践力、スケジュール管理能力等を磨く。 | | 専門力、人間力を活かした就職活動を通じて自己実現を目指す。 | | |
| 看護学群 | キャリアガイダンス① | キャリアガイダンス② | キャリアガイダンス③ | 看護師・保健師国家試験受験対策 国家試験対策ガイダンス、模擬試験、模擬試験解説会、直前講座 | | 医療機関インターンシップ | 医療機関等研究セミナー | 看護学群 就職率(平成30年度) 100% 看護師国家試験合格率(第108回:全国平均94.7%) 98.9% 保健師国家試験合格率(第105回:全国平均88.1%) 97.5% |
| | フレッシュマンコア (基盤教育) (キャリアデザインI) 産学連携講座 | | キャリアデザインII | キャリア開発II・III | 合同業界研究セミナー／業界研究会 | | | 各種就職活動支援セミナー、個別企業説明会等 |
| キャリア開発I | | 公務員試験対策 | 公務員試験対策 | 就職活動支援 | 食産業学群 就職率(平成30年度) 100% | | | |
| | インターンシップI | インターンシップII 企業主催インターンシップ(応募等) / 学群実施インターンシップ(推薦等) | | | | | | |
| 事業構想学群 食産業学群 | | 学外研修(アドバンスコース) | 課題解決型、現場体験型、経営課題解決・提案型 | | | | | |

キャリア教育・支援プログラム

インターンシップ・プログラム

キャリア開発室のサポート

中長期的な視野に立ったキャリア教育を目指し、全学群にて1年次から3年次後期にわたり充実したキャリア科目の講義を用意しています。その充実したプログラムの中で、学生自身がじっくりと自分と向き合いながら自己のキャリア形成を考え、それを実行に移すことのできる様々な機会を提供します。

1・2年次より、講義形式でのキャリア形成教育と連動し、体験型学習として多用なインターンシップ・プログラムを実施します。また就活に直結する公募型インターンシップ或いは学生向けビジネスコンテスト、アイデアソン等の学外にて実施される様々な体験型プログラムの情報提供を積極的に行います。

キャリア開発室では、学生の個性と適性、そして希望する様々なライフプランに沿ったキャリア形成を、企業情報の提供、就職関連のガイダンス、学生の適性に実施されるテクニカルセミナー、個別企業セミナー、そして合同業界研究セミナー等を提供し、年間を通じて多角的にサポートします。

教職員とともに、キャリア開発室や進路相談員が1年次より4年間を通していつでも学生のキャリア形成に向けた活動をサポート

キャリア開発室では、個々の学生の特性に適したキャリア形成に役立つように、学生の進路選択の相談に乗るとともに個人面接及びグループ面接の練習の他、エントリーシートの書き方等、就職活動に必須の実践に則した様々な個別指導、相談をおこないます。

看護学群
キャリアガイダンス①～③



4年次に学生自身が進路決定できるように、1年次から3年次まで、講義・グループワーク・先輩の体験談などを通して、個々の学生が自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

事業構想学群 食産業学群
キャリアデザイン・キャリア開発



社会環境や他者との関係を理解し、キャリア・プランニング・プロセスの考え方を学び、様々な職業人の話から、進路選択を熟考しながら自己を分析し、どのような能力を身につけるべきかを実践的に学びます。

事業構想学群 食産業学群
インターンシップI・II



早期の職業観醸成を目指し、2年次に仕事や社会について学び、実社会での職場体験も用意しています。3年次には、将来の職業選択に向けてインターンシップに参加するといった一連の教育プログラムを構築しています。

看護学群
国家試験対策



「看護師」「保健師」の資格は、国家試験の合格をもって得られる資格です。4年次には、定期的に模擬試験とその解説会を行い、学びを定着させます。また、国家試験合格に向けて教員のサポート体制を構築しています。

看護学群 事業構想学群 食産業学群
公務員試験対策



行政事務、建築、保健師など公務員を目指す学生を対象に、教養試験と専門試験の対策講座をはじめ、論文添削や面接指導、また個別自治体説明会など多岐にわたり支援プログラムを実施しています。

事業構想学群 食産業学群
合同業界研究セミナー



学生による主体的なキャリア形成への意識づけ、また職業観や勤労観の涵養を目的に、企業、自治体の採用担当者や本学のOB・OGを招聘し、業界、企業を広く研究する機会を設けています。

学生の主体的な学びとチャレンジ

インターンシップ等、多様な学びの機会を活用する

ブランド価値を高める「製販一体」の現場を体験

伊藤ハムデリー株式会社は、伊藤ハムグループの中でも主に北海道・東北地区において食肉加工品の製造・販売を手掛ける会社です。1975年の設立以来、豊かな自然環境の恩恵の元、地域に根ざしながら“伊藤ハム”ブランドの価値向上を通じ、食文化の深化に取り組んでいます。食産業学群の学生が参加したインターンシップ研修では、食肉加工製品の企画・製造現場体験や商談体験などを通じ、その仕事の奥深さを体感しました。



インターンシップ等、多様な学びの機会を活用する

ホテルでの研修で顧客へのホスピタリティとチーム力を学ぶ

仙台ターミナルビル株式会社は、仙台、福島、郡山、山形の駅に隣接するショッピングセンターやホテルの管理・運営、さらに観光果樹園などの農業事業を主軸とする会社で、駅を中心とした新しい価値創造に取り組んでいます。本学の学生が参加したインターンシップ研修では、ホテル事業の宿泊部門で客室清掃や受付業務等の研修を受け、一丸となってお客様をお迎えするホテルのホスピタリティやチーム力について学びました。



インターンシップ等、多様な学びの機会を活用する

学生が提言！「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」

仙台港周辺地域における賑わい拠点づくりを目的とした官民連携プロジェクト「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」には、2018年度に事業構想学群の5グループ36名の学生が参加し、様々な提言が好評を博しました。学生の視点を提供することでプロジェクトに寄与しており、2019年度も継続して関わっています。学生にとっては、コンソーシアムに参加する多様な企業との貴重な協働の機会ともなっています。



インターンシップ等、多様な学びの機会を活用する

食品安全から医療関連サービスの最前線まで幅広い学び

食産業学群の学生が、健康維持や食の安全性に広く貢献する業界大手の株式会社LSIメディエンス（以下、LSI）中央総合ラボラトリーにおいてインターンシップ研修を受けました。LSIは臨床検査・診断用医薬品開発・創薬支援の3事業を行う国内唯一の企業です。臨床検査分野では、食品衛生、病気予防と早期発見、治療、オーダーメイド医療といった、医学と科学の融合的視点で取り組む次世代検査・医療関連サービスの最先端を学ぶことができました。

社会と出会う、地域と触れ合う

高齢者の地域活動に参加し、看護職の地域づくりを学ぶ

人生100年時代を迎え、看護職はこれまで以上に地域に出向き、健康な暮らしに貢献するため主体的に活動することが求められています。看護学群の老年看護学領域では、授業の一環で「大和町フィールドワーク」を行っています。地域で暮らす高齢者の様々な活動に参加し、健康と社会参加および地域環境との関係性を考えます。そのうえで看護職が取り組むべき支援を話し合い、人生を最期まで生き活きと過ごせる地域づくりを学んでいます。



豊かな人間力を養成する

様々な学会やコンペで、数多く受賞する学生たち

事業構想学群3年、高山ゼミの千葉慎太郎さんが、株式会社宣伝会議主催の第11回販促企画コンペティションで協賛企業賞を受賞しました。応募課題は「シニア世代がコカ・コーラ社製品を、思わず手にとりたくなるアイデア」。千葉さんはTwitter上で人気のツイートに着想を得て、コカ・コーラが「イケてるシニア」のアイコンとしてタイムラインを埋め尽くす『#ジジコーク』企画を提案。独自に実施したアンケートも高評価を受けました。



仙台朝市商店街振興組合



社会と出会う、地域と触れ合う

事業構想学群3年生が、仙台朝市の認知度向上に貢献

事業構想学群の3年生が指導教授の下でチームを組成し、仙台朝市商店街振興組合と連携し、仙台駅西口の観光スポットである仙台朝市のさらなる活性化を図るプロジェクトに取り組みました。来街者・出店者向けアンケートの実施やマーケティング戦略の策定、ポスター制作を含む多様な広報の実施などにより、仙台朝市感謝祭の来街者数の大幅増加に貢献。2018年度のイノベーション教育学会年次大会では優秀作品賞を受賞しています。



グローバルな目を養う

看護のスキルと知識をグローバルな視座で習得する海外研修

看護学群には、グローバルな視点で活躍する看護職の育成を支援する国際看護プログラムがあります。「実践看護英語演習」という看護専門科目では、3年次の夏に2週間の海外研修を行い、現地の看護大学（オーストラリアのサザンクロス大学）で看護学を学びます。演習や講義、病院視察、現地の看護学生との交流、ホームステイ先での体験を通して、看護の知識と語学を習得するのみならず、国際的な視野も身につけることができます。

企業・自治体との連携

トヨタ自動車東日本株式会社



世界で活躍する企業から生産現場の知恵と課題解決力を学ぶトヨタ講座

産学連携講座では、国内外で活躍する企業等と連携し、学生が社会で活躍するための知識や関心、創造力を養います。また、国と地域を支える産業の歴史を踏まえ、各企業の課題解決の取り組みを学びます。2018年度はトヨタ自動車東日本株式会社の本社・宮城大衡工場と本学で実施。トヨタの東北進出のきっかけや地元企業との相互研鑽活動と職場改善の取り組み、開発・生産準備・生産が三位一体となった体制など、現場の知恵と工夫が活かされた課題解決の取り組みを学びました。

宮城県大崎市



地域のニーズや課題を聞き取り 地域の新たな価値創造へ

本学では地域のニーズや課題に対して地域連携センターが窓口となり、自治体等と協働して地域づくりなどの事業を行っています。毎年9月開催の大崎市岩出山の有備館まつりでは、大崎市教育委員会とデジタルメディア作品を手掛ける本学の学生団体 bits、事業構想学群の鈴木優准教授とが連携し、旧有備館と庭園を舞台にプロジェクションマッピングを実施。闇夜に映し出される一夜限りの幻想的な世界が、多くの観光客を集めています。

国分東北株式会社



食産業界の現状と展望、 現場で働く先輩社員の生の声を聞く

食産業学群では、江戸時代から続く食品・酒類卸売業老舗の国分グループの国分東北株式会社を招き、講演が行われました。東北の豊かな食文化と時代に合う商品を提案・販売する同社社員の方々から、食産業界の実際と展望、求められる人材についてお話がありました。本学での学びを生かして社会で活躍するにはどうすればよいかを学ぶとともに、同社に就職した卒業生からメッセージが送られるなど、学生の意識改革にも繋がっています。

大鵬薬品株式会社



食と関連する医薬品開発の現場を知り、 進路を幅広く考える

大塚ホールディングスのグループ会社である大鵬薬品工業株式会社では、世界のがん化学療法に貢献する医薬品開発にチャレンジを続けており、免疫・アレルギー領域においても新規性のある医薬品開発に取り組んでいます。食産業学群ではこうした先端企業の社員の方と同社で働く卒業生を招き、講演会が開かれました。がんやアレルギーは食産業とも密接な関係があり、食を総合的に学ぶ学生たちにとって、医薬品業界での自分の可能性を考える良い機会となりました。



President's Message

4年間を通じた実践と、学生に寄り添った教育を。

理事長兼学長 川上伸昭

グローバル化、IT化などが急速に拡大する今日、社会経済環境は加速度的に変化しており、新たな時代の人材に求められる能力も大きく変わってきています。日本経済団体連合会と大学とが合同で開催する産学協議会が2019年4月22日付で取り纏めた共同提言では、「Society 5.0時代に人材に求められる能力」として、忍耐力やリーダーシップ、チームワーク、学び続ける力などの人間力を基盤としつつ、社会システムを構想・設計する力などが取り上げられています。本学の卒業生を採用した企業の方の本学学生に対する評価は様々ですが、「まじめ」という評価が上位に来ます。これは、上記の忍耐力やチームワークの基礎になる能力が備わっているものとして誇りにしてよいことです。しかし、これが、「言われたことをまじめにやる」というこ

とにとどまっているのだとすれば、これからの時代で彼らは埋もれていってしまいます。そのようなことにならないよう、本学では、全学年次の教育に亘る様々な実践を通して、現実社会において自ら考え、解決策を考案し、それを表現することのできる学生を育てることに力を入れてきています。さらに、1年次から開始されるキャリア教育によって社会にいる自身を具体的にイメージさせ、これら両者が相俟って、高度な実学に基づき、豊かな人間性、高度な専門性及び確かな実践力を身につけ、グローバルな視点で地域社会や日本経済の発展に貢献できる人材となることを目指しています。このようにして、宮城大学は、学生が社会で使える知識を身につけ、卒業後には社会人として有意義な人生のスタートを切れるよう寄り添っていきます。

幅広い分野で活躍する卒業生

看護学群

実践的な学びを活かし、看護師・保健師・養護教諭の現場で幅広く活躍しています。

#01



東京都立小児総合医療センター
PICU 看護師
宗形皓至さん (2015年3月卒業)

全国から集まる重篤な機能不全小児患者を集中的に治療・看護するPICU(小児集中治療室)に看護師として勤めて5年目です。治療補助や日常生活援助、家族へのケアなどを行っています。小児病院で働くなかでは、大学での小児看護の講義のみならず養護教諭の教職課程での学びが、子どもを多面的に捉えるうえで役立っています。発症前から病院での急性期を経て家庭に戻るまでを一続きに捉え、その時々で求められるケアを提供していきたいです。

事業構想学群

文系、理系に加えデザイン系に幅広さと実学に基づく実践力を

#04



七十七銀行塩釜支店
融資グループ
吉田晃也さん (2017年3月卒業)

も広がる「文・理・美」という特長としています。

高校生の時に気仙沼で東日本大震災を経験し、困難に直面した産業や会社の再建・成長を後押ししたいと思い、七十七銀行を志望しました。大学で所属した金融ゼミで電子書籍を出版したのは貴重な経験でした。フィールドワークで企業の方に話を聞く際は、自らアポイントを取ったり質問内容を事前に準備したりしましたが、仕事をするなかでもこれは大切なことです。社会人と交流するなかで、「もっと知りたい」と自発的な姿勢に変わったと思います。

食産業学群

生命の活力である“食”を産業と科学の融合的視点で学び、夢を実現して世界と地域で活躍しています。

#07



独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
農林水産省に出向中
中村圭吾さん (2015年3月卒業)

現在は農林水産省に出向中ですが、JICAでは、農村開発部に所属し、開発途上国の政府関係者との協議や各種調査、技術協力プロジェクト等を通じ、「国創り」に取り組んできました。大学在学中は、米国への留学を経験し、異文化理解力を醸成しました。宮城大学は、学生と教員との距離が近く、海外経験が豊富な先生方から、的確なアドバイスをいただくことができ、留学制度も整っているため、将来海外で働くための環境が整っています。

#02



石巻市健康部健康推進課
保健師
遠藤めぐみさん (2017年3月卒業)

生まれ育った地域で、災害看護などの大学での学びを生かしながら地元住民の健康増進に貢献したい気持ちが強くありました。保健師は、幅広い年齢層の住民や関係機関職員との関係作りが重要で、コミュニケーション能力が求められる場面が多いと感じます。大学時代のサークルでの他学部生や先輩後輩との交流、授業でのグループワーク、看護実習などはその能力を培う貴重な機会でしたし、保健師としての日々の業務に生かされています。

#05



株式会社東日本放送 (KHB)
新社屋プロジェクト室
志賀英仁さん (2013年3月卒業)

インターンシップに参加して感じた社風や環境活動に取り組む姿勢に魅力を感じ、入社を決めました。営業部、報道部を経て、現在は2021年に移転予定の新社屋の基本構想等をまとめる一大プロジェクトに関わっています。3年次に他学科の人たちと一緒に取り組んだ「チームプロジェクト研究」での経験は、テレビ局で様々な人と協働する際に活かされています。相手の気持ちを尊重しながら自分の役割をいかに見出すかを、常に意識しています。

#08



農林水産省
(独)農林水産消費安全技術センターに出向中
渡邊さおりさん (2014年3月卒業)

私は技術職の立場から国の施策に関わられたらと農林水産省畜産系技術職員の採用試験を受けました。現在は、食品や農業生産資材の検査分析により食の安全と消費者の信頼の確保に取り組む農林水産消費安全技術センターに出向中で、分析を含めた飼料業者への立入検査を行っています。大学3年次から「動物遺伝育種学」を専攻し、DNA解析技術や、専門知識を伝える際は自身の深い理解が不可欠なことを学びました。今の仕事でも大切な学びです。

#03



宮城県石巻市立大街道小学校
養護教諭
赤坂菜摘さん (2016年3月卒業)

高校時代に養護教諭の先生がかけてくれた一言に救われ、今の仕事に興味をもちました。大学の病院実習では、看護も多様であることを学びましたが、その経験は異動のある現在の職場環境で活きており、各学校で求められる保健室・養護教諭の在り方に柔軟に対応する助けとなっています。エビデンスを明確にして仕事に責任をもつことは、看護学部で日々学んだことです。自分のとった対応については常にきちんと伝えられるようにしています。

#06



株式会社 NTT ドコモ 移動機開発部
第三アプリ開発担当
菊田奈穂さん (2017年3月卒業)

東日本大震災時に、いづどんな場所でもどんな人とも繋がることのできる「通信」の重要性を実感し、通信業界に興味を持ちました。現在はプロジェクトマネージャーとして、サービスアプリの要件定義やUIデザイン検討を行い、販売計画に合わせた製品開発を行っています。アプリにとってユーザビリティは非常に重要であるため、大学でUIデザインやUXデザインについて学んだ経験が非常に役立っています。

#09

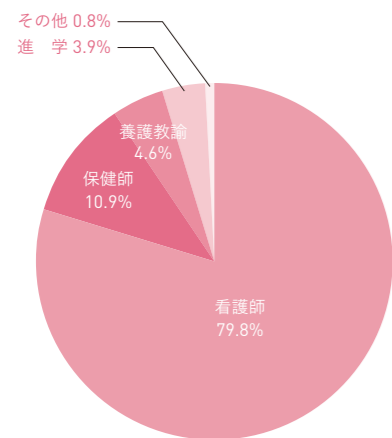


JA 全農みやぎ
(株) パールライス宮城に出向中
佐竹理沙さん (2013年3月卒業)

卒業後は全国農業協同組合連合会宮城県本部 (JA 全農みやぎ) に入会し、2019年より株式会社パールライス宮城へ出向しています。現在はJA全農みやぎをはじめJAや他県産地から仕入れた玄米を精米して卸すことが業務で、私は量販店への精米販売を担当しています。大学では、食品の生産・流通・加工を学び、原料(農業)の大事さを実感しました。日本人の食卓を支える生産者の安定的な手取りを確保し、適正な売価設定に努めたいです。

看護学群進路データ

進路先一例 (2014-2018)



【看護師】 石巻赤十字病院／大崎市民病院／栗原市立栗原中央病院／国見台病院／公立黒川病院／JCHO 仙台病院／仙塩利府病院／仙台オープン病院／仙台厚生病院／仙台市立病院／仙台赤十字病院／国立病院機構仙山西多賀病院／東北医科薬科大学病院／東北公済病院／東北大学病院／東北労災病院／松田病院／宮城県看護協会訪問看護ステーション／宮城県立がんセンター／宮城県立こども病院／宮城県立精神医療センター／宮城県厚生協会総合病院／岩手県立病院／がん研究会有明病院／国立がん研究センター中央病院／国立国際医療研究センター病院／JA 秋田厚生連／昭和大学附属病院／東京医科歯科大学医学部附属病院／東京大学医学部附属病院／東京都立小児総合医療センター／東邦大学医療センター／虎の門病院／日本医科大学病院／弘前大学医学部附属病院／福島県立医科大学附属病院／北海道大学病院／武蔵野赤十字病院／山形大学医学部附属病院／横浜市立市民病院 ほか

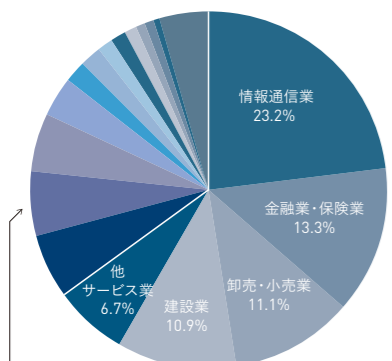
【保健師】 宮城県／石巻市／大郷町／大衡村／加美町／塩竈市／仙台市／岩沼市／大和町／多賀城市／登米市／宮城交通(株)／青森県／岩手県／福島県／いわき市／奥州市／郡山市／美郷町／山形市 ほか

【養護教諭】 宮城県／仙台市／秋田県／岩手県／福島県 ほか

【進学】 スズキ病院附属助産学校／仙台医療センター附属仙台看護助産学校助産学科／秋田県立衛生看護学院助産科／茨城県立中央看護専門学校助産科／聖路加国際大学大学院助産学専攻／名古屋市立大学大学院看護学研究科(助産課程)／日本赤十字看護大学大学院修士課程国際保健助産学専攻／日本赤十字社助産師学校 ほか ※順不同

事業構想学群進路データ

進路先一例 (2014-2018)



詳細は下記参照
 学術研究、専門・技術サービス業5.9% 製造業5.6% 公務5.5%
 不動産業・物品賃貸3.5% 複合サービス事業2.0% 運輸業、郵便業1.9% 教育、学習支援業1.4% 生活関連サービス業、娯楽業1.3% 電気・ガス・熱供給・水道業1.2% 宿泊業、飲食サービス業0.8% その他の業種0.8% 医療、福祉0.7% 進学4.2%

【情報通信業】 東北インフォメーション・システムズ(株)／日立ソリューションズ東日本(株) NTT ドコモ／KDDI (株)／(株)サイバーエージェント／(株)日本総合研究所／日本ユニシス(株)

【金融業・保険業】 (株)七十七銀行／(株)仙台銀行／日本銀行／(株)三井住友銀行／損害保険ジャパン日本興亜(株)／東京海上日動火災保険(株)／日本生命保険相互会社

【卸売・小売業】 カメイ(株)／(株)藤崎／(株)セブン-イレブン・ジャパン／(株)東京インテリア家具／(株)ファーストリテイリング

【建設業】 (株)北洲／(株)ユアテック／積水ハウス(株)／大和ハウス工業(株)／(株)長谷工コーポレーション

【他サービス業】 仙台ターミナルビル(株)／(株)JTB

【学術研究、専門・技術サービス業】 (株)NTT ファシリティーズ東北／(株)第一広告社／(株)読売広告社

【製造業】 アイリスオーヤマ(株)／トヨタ自動車東日本(株)／(株)オカムラ／武田薬品工業(株)／凸版印刷(株)／ヤマハ(株)

【不動産業・物品賃貸】 三井不動産リアルティ東北(株)／三菱地所リアルエーストサービス(株)

【複合サービス事業】 宮城県商工会連合会

【運輸業、郵便業】 東日本旅客鉄道(株)

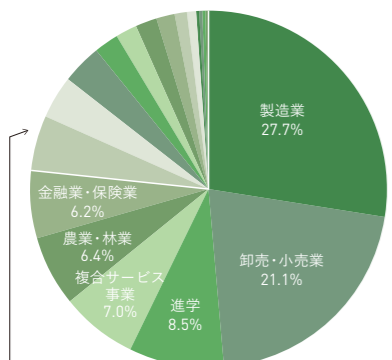
【電気・ガス・熱供給・水道業】 東北電力(株)

【公務】 宮城県／仙台市

【進学】 宮城大学大学院／北海道大学大学院 ※順不同

食産業学群進路データ

進路先一例 (2014-2018)



詳細は下記参照
 情報通信業4.8% 公務4.0% 宿泊業、飲食サービス業3.5% 運輸業、郵便業2.2% 他サービス業2.2% 学術研究、専門・技術サービス業1.9% 生活関連サービス業、娯楽1.5% 教育、学習支援業1.3% 不動産業、物品賃貸業0.6% 医療・福祉0.5% 建設業0.2% 漁業0.2% 電気・ガス・熱供給・水道業0.2%

【製造業】 (株)菓匠三全／(株)ブルボン／(株)極洋／(株)鐘崎／JA 全農北日本くみあい飼料(株)／キュービー(株)／マルハニチロ(株)／伊藤ハムデイリー(株)／共立製菓(株)／日本食研(株)／日本水産(株)

【卸売・小売業】 (株)ポーラ／(株)仙台水産／イオンリテール(株)／加藤産業(株)／カメイ(株)／国分東北(株)／ゴディバジャパン(株)／三井食品(株)／三菱食品(株)

【複合サービス事業】 いわて平泉農業協同組合／みどりの農業協同組合／みやぎ登米農業協同組合／仙台農業協同組合／全国農業協同組合連合会／全国農業協同組合連合会宮城県本部／全国酪農業協同組合連合会／福島さくら農業協同組合／名取岩沼農業協同組合

【農業・林業】 (一財) 蔵王酪農センター／(一社) 宮城県畜産協会／(株)渡辺採取場／(株)日高見牧場／山元いちご農園(株)

【公務】 宮城県(農業)／石巻市／岩手県(農業職)／福島市／農林水産省(畜産)／厚生労働省検疫所

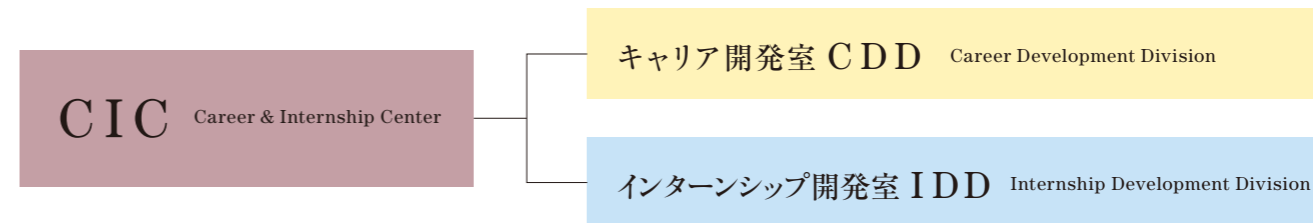
【宿泊業、飲食サービス業】 (株)一の坊／(株)ドトールコーヒー

【学術研究、専門・技術サービス業】 (株)LSI メディエンス

【進学】 東京大学大学院／東北大学大学院／北海道大学大学院／東京農工大学大学院／筑波大学大学院／宮城大学大学院 ※順不同

キャリア・インターンシップセンター組織図

《 2つの開発室による強固なキャリア形成支援 》



お問い合わせ先

各種情報のご提供

本学では事業所案内、インターンシップ募集、説明会開案内などの情報の提供を受け付けております。各種情報をご提供いただける場合、その他、採用活動、インターンシップ関連のお問い合わせがございましたら下記お問い合わせ先までご連絡ください。

□宮城大学大和キャンパスキャリア開発室
 ☎022-377-8216 email:careerdev@myu.ac.jp
 □宮城大学太白キャンパスキャリア開発室
 ☎022-245-1175 email:f-career@myu.ac.jp

求人のお申し込み

求人情報をご提供いただける事業者様におかれましては、本学ウェブサイトにごきます採用ご担当者様向けページよりお申し込みいただけますようお願いいたします。

求人のお申し込み詳細につきましては、下記よりご確認ください。
 □宮城大学ホームページ／採用担当者の方／
<http://www.myu.ac.jp/company/>



大学が主催するインターンシップへのご参画

本学では、学生の「豊かな人間性」「高度な専門性」「確かな実践力」を育成することを理念としており、その理念実現の一環として事業構想学群および食産業学群においてインターンシップを正規科目として設置しています。ご参画をご検討の事業者様は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

□宮城大学キャリア・インターンシップセンター
 ☎022-377-8548 email:kouhou@myu.ac.jp

企業等からの大学院生受け入れ

本学では、地域における高度専門人材の育成および社会人の皆さまのキャリアアップ支援として、社会人に配慮した社会人特別選抜の制度を設け、大学院生の受け入れを行っております。詳細については本学ウェブサイトにごきます入試情報をご覧ください。

□宮城大学アドミッションセンター
 ☎022-377-8333 email:nyushi@myu.ac.jp

連携講座、寄附講座の開講

本学では、教育の一層の充実を図るため、本趣旨にご賛同いただいた民間企業、団体及び研究機関等と連携した連携講座、寄附講座を開講し、学生に対して社会で活躍するための知識や創造力を養う場の提供に取り組んでおります。本学との連携による各種講座開講にご興味のある事業者様は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

□宮城大学カリキュラムセンター
 ☎022-377-8202 email:kyoumu1@myu.ac.jp

企業や自治体の抱える課題などへの支援

企業や自治体が抱えるニーズや課題を解決するため、地域連携センターに常駐するコーディネーターが窓口となり、本学の有するシーズとのマッチングを行い、受託・共同研究、受託事業などにより支援してまいります。相談のある方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

□宮城大学地域連携センター
 ☎022-377-8319 email:chiren@myu.ac.jp